香美市立美術館 アートの窓

SHUNICHIRO　MIYAJI

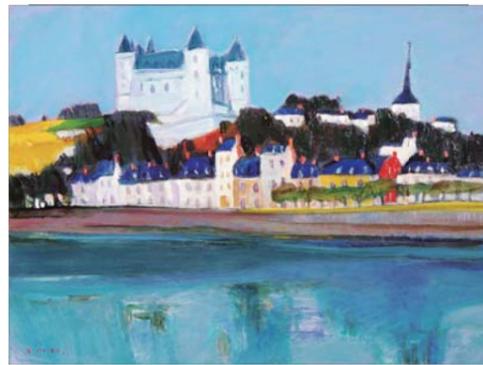
宮地俊一郎展

―こころの風景―

4月5日（土）～5月25日（日）

▲「ロアールの古城」１９９５年

　１９３２年に四万十市に生まれた洋画家・宮地俊一郎の個展を開催します。

　宮地俊一郎は、高知大学を卒業後、中学校教員として勤務する傍ら、絵を描いてきました。１９５４年に高知県展に初めて入選し、以来連続出品を重ね、１９６３年に無鑑査となっています。その間も１９６１年に第４回新象作家協会展で新人賞を受賞、１９６７年には第10回安井賞展に出品するなど活躍の場を広げていきました。当時の作品は、１９６０年代の社会情勢を反映し、激しい感情の高鳴りを抽象的に表現したものですが、１９７０年代以降は、落ち着いた色彩の風景画を数多く手掛けるようになっていきました。これらの風景画は、単なる写生ではなく、作者の心象を重ねて、独自の表現に高められています。

　１９８９年にパリで１年間の美術研修に励み、手ごたえを感じた宮地は、その後何度もパリを訪れて、その地の景色を美しい風景画として残しています。

　今回の個展は、若い頃の抽象的な表現から、落ち着いた風景画まで、作品の変遷をたどり、円熟の域に達した現在に到るまでを見ていただける展示となっています。パリの街角や、故郷の山や川など、多彩で鮮やかな多くの作品を楽しんでいただきたいと思います。

　明るい春の季節に、みずみずしい風景画の数々が皆さまのご来場をお待ちしています。（館長・都築房子）

▲「早鞆の海」１９８４年

オープニングセレモニー

4/5（土）14時～

場所　美術館

オープニングセレモニー終了後に、宮地俊一郎さんによるトークがあります。

問 美術館 ☎53－5110

吉井勇記念館だより

第11回吉井勇顕彰短歌大会

　漂泊の歌人吉井勇の功績を顕彰するために開催している短歌大会が、３月８日、猪野々集会所で開催され、全国各地から、一般85名・168首、学生610名・917首の投稿がありました。表彰式と記念講演会は３月８日（土）、猪野々集会所で行われます。

【受賞作品・一般の部】

吉井勇大賞

牛飼ひの六戸の村人手際良く
校長の引つ越し荷物を積みぬ　札幌市　藤林正則

吉井勇賞

志々島の楠の大樹に寄りそえば木のふところに心安まる
　高松市　髙木陽子

選者特別賞・井上佳香賞

切り取れるその瞬間に手のひらに重さの移る黒葡萄(くろぶどう)なり
　名古屋市　清水良郎

玉井清弘賞

軽がろとけんけんをして木洩(こも)れ日の金の輪を跳ぶ幼子ふたり
　大分県杵築市　伊藤美佐子

佳作

三輪車夢中で踏んで駆け込んでごっくんごくんと音たてて飲む
　富山県氷見市　岡田澄江

海近くかげろひながら花菜分け単線一輌ぬっと顕る
　松山市　橋本紀代子

こだま継(つぎ)こだま継こだま継こだま時計の要らない春に居ります
　愛知県津島市　相原利沙

【受賞作品・学生の部】

吉井勇大賞

牛達が下げる頭に和んだら先生曰く「それは威嚇(いかく)だ」
　香川県石田高３年　村上絵美

吉井勇賞

決勝戦最後のバッターぼくだった今年の夏は暑かったよね
　大宮小６年　中平慎之介

選者特別賞・井上佳香賞

おかえりとまず抱きしめてくれるのは潮の香りと錆(さ)びた海風
　高知工業高等専門学校２年　伊藤佳乃子

玉井清弘賞

地下足袋を履いて心が引きしまる一生捧げる庭師人生
　香川県石田高３年　山上拓哉

佳作

稲かりのあとに残りし独特のにおいでわかる秋のけはいが
　大宮小６年　出原　武

さげふりを測点の上そろえるの短歌並みに難しいよな
　香川県石田高２年　津村有輝

夏休み部活に行くとまた伸びた草丈グーン友の背ぐーん
　香川県石田高１年　木村晴香

入館料の改定について

　４月１日から、消費税の増税に伴い入館料が次のとおり変更となります。

一般＝420円▽高校生以下＝無料▽長寿手帳提示で入館料半額。障害者手帳提示で手帳所持者と介助者１名入館料無料。10名以上の団体60円引き・各種クーポン提示で50円引き(併用不可)

■問い合わせ先　吉井勇記念館　☎58・2220

図書館だより　市立図書館

聞いて、作って！どきどき♥バレンタイン

　香北分館では、２月１日に、寒い冬に心が温かくなるような本を楽しみ、自分だけのバレンタインカードを作るイベントを開催しました。

◇第一部　おはなし会

ボランティアの方に、読み聞かせを行ってもらいました。普段あまり読めない長い絵本を、子どもたちは真剣に聞いていました。

◇第二部　バレンタインカード作り

　講師に西本百合さん（香北町猪野々）を迎え、保育園児・小学生９人と保護者・ボランティア４人が参加しました。

　バレンタインカードの作成は、はがき型の白い画用紙に色鉛筆でハートを描き、順番に回し、他の人のカードにも描いていきます。最後に自分のカードに戻り、切り抜いた花・星等を貼り、もう一枚の好きな色画用紙と一緒にリボンでとじます。

　個性的な絵や発想に、講師が感心するほどステキなカードができました。

　参加者からは「みんなで回していくことで完成する絵が不思議で、楽しかった」、「今後も、子どもと大人が一緒に楽しめる創造的なイベントを開催してほしい」などの声がありました。

　こういった企画は、初めてでした。今後も、ご期待にお応えできるようなイベントを計画していきたいと思います。

▲バレンタインカード作りの様子

Pick Up

赤ちゃんがすぐに泣きやみグッスリ寝てくれる本
渡辺信子　著
敏感で繊細な赤ちゃん。カリスマ助産師が快適な「まんまる」子育てを勧め、健やかな成長に役立つ遊びや体操等を分かりやすく紹介している。

ぼくは戦争は大きらい
やなせたかし　著
戦争を忘れてはいけないという信念で、私たちへのメッセージとして、自らの戦争体験を語った本。アンパンマンを彷彿させるエピソードも。

宝の山　商い同心お調べ帖
梶よう子　著
澤本神人は物価と不正出版物を取り締まる役人。小者庄太と共に誠実に生きる庶民の暮らしを守り、食物やニセ金に絡む事件の謎を解いていく。